



イノシシから身を守るために



イノシシは本来、森や山ではなく、私たちが住んでいる平地や里山で暮らす動物です。また、人間と同じように消化の良い食べ物を好むことから、田畑などの農作物を荒らすことがあります。

春の発情期から夏の出産後は攻撃的になるため、特に注意が必要です。

イノシシに出会ったら…

▲ 近付かない

遠くで見かけたら、見えなくなるところまで静かに離れる

▲ 落ち着いて行動する

背中を見せずにゆっくり後退し、速やかに立ち去る

▲ 刺激しない

- 目を合わせたり、大声を出したり、物を投げたり、追い回したりしない
- 急に振り向き、急に体を動かすなど、「急」が付くような動きをしない
- 犬がほえるとイノシシを刺激してしまい、襲われやすくなるため、犬の散歩中は特に注意する



イノシシが近付いてきたら…

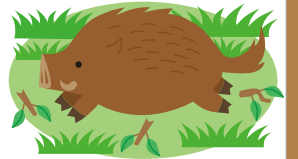
建物や車などの壁がある場所や、塀の上や木に登るなど高いところに避難しましょう。攻撃されたら、体をかがめ、足を閉じて急所を守る防御の姿勢を取りましょう。

イノシシを人に慣れさせないために

市では、イノシシの捕獲を行っています。目撃情報が続いています。次のような対策をしていただき、被害を減らすためのご協力をお願いします。

イノシシのすみかや餌場をつくらない

イノシシは、森林や竹林、やぶに身を潜めて行動する傾向があります。土地の所有者は、草刈りをしたり農作物を残さないなど、適切に土地を管理をし、被害の予防をお願いします。



絶対に餌は与えない

小さなイノシシでも、絶対に餌は与えないでください。一度でも餌が食べられることを学習してしまうと、付近に居着いてしまうことにつながります。



市内におけるイノシシの目撃情報をホームページで公開しています。目撃情報のあった場所の周辺では特に注意しましょう。詳しくは、[千葉市 イノシシ](#)

イノシシの目撃情報や生活被害の相談は… : 身の危険を感じたら…
 問環境保全課 ☎245-5195 FAX245-5557 : すぐに110番または
 農作物被害の相談は… : 最寄りの警察署に通報し
 問農業経営支援課 ☎228-6275 FAX228-3317 : てください。

千葉市の🍓をつくらべ!

市内ではさまざまな農産物がつくられています。産地ならではの新鮮で旬の農産物をおいしくたべませんか？

イチゴ 旬…5月まで

市内では昔から盛んに栽培されているイチゴ。現在は「かおり野」「とちおとめ」「紅ほっぺ」「チーバベリー」などの大粒で甘い品種が栽培され、スーパーなどで売られているほか、イチゴ農園での直売やイチゴ狩りも行われています。甘い香りが漂う市内のイチゴ農園で、完熟のイチゴを口いっぱい頬張ってみましょう！

Recipe イチゴのおからスコーン

- (材料) 6個分
 イチゴ…60g 卵…1個 豆乳…30cc
 てんさい糖…35g 米油…大さじ1と1/2 溶き卵…少々
 ① 薄力粉…100g おからパウダー(微粒)…25g
 ② アーモンドパウダー…20g
 ③ パーキングパウダー…3g



- ①イチゴを洗い、1cm角にカットする。
- ②①の粉類をボウルにふるい、混ぜておく。
- ③②とは別のボウルに卵を割りほぐし、てんさい糖と混ぜ、豆乳も入れて混ぜる。
- ④③に②を入れよく混ぜたら、米油とイチゴを入れて混ぜる。
- ⑤まとまった生地をラップでくるみ、直径15cm高さ1cmの円形に形成する。
- ⑥ラップを外し、オーブンシートの上で6等分にカットする。
- ⑦溶き卵を塗り、180度のオーブンで18～20分焼く。

レシピ監修 (千葉市つくたべ推進店) = おからスイーツ専門Maco (若葉区) なかむら まことさん

問農政課 ☎245-5758 FAX245-5884

千葉開府 900年への道

三、「開府」とは

「千葉開府」という言葉について、「そもそも幕府がない千葉市で、なぜ開府なの？」という質問をいただくことがあります。

歴史の授業で「幕府」といえば、「鎌倉」「室町」「江戸」という3つを習いますね。

「開府」という用語は、辞書を引くと「幕府を開く」ということであり、千葉市には幕府はありませんでした。千葉市では、千葉氏が千葉にまちを開いたという1126年(大治元年)を「開府」と表現し、千葉開府850年祭で制作された記念品



1926年(大正15年)に「千葉開府八百年祭」、1976年(昭和51年)に「千葉開府850年祭」を行い、歴史を振り返り、未来に残したいものや「市としてあるべき姿」を目指して記念事業を行ってきました。

なお、他の地域でも「開府」という言葉を使った事業を行っていたようです。幕府があった東京では、1889年(明治22年)に東京開府三百年記念祭が行われました。名古屋市では名古屋城築城から起算して1910年(明治43年)に名古屋開府三百年祭が、新潟県長岡市では城主牧野氏が藩主となってから起算して1917年(大正6年)に長岡開府三百年祭が行われました。これらの事業は、現代にも続いています。

先人たちの「千葉開府」にかけた思いを継承して、現代の私たちも未来に残したいことを考え、記念事業を進めていきます。